

リチウムイオン二次電池からの火災にご注意ください。

リチウムイオン二次電池は従来の電池よりも高容量、高出力、軽量であるという特徴を生かし、モバイルバッテリー、スマートフォン、タブレット及びノートパソコンなどのモバイル機器に搭載されていることが多いですが、この数年、全国的にリチウムイオン二次電池に起因する火災が発生しており、今後も増加が懸念されています。

平成 29 年 10 月現在、泉大津市内において出火事例はありませんが、消防では注意を呼び掛けています。

●火災が発生する要因

- (1) リチウムイオン二次電池の仕様に応じた設定で充電しなかったため、過充電となり出火。
- (2) 充電時に専用の充電器を使用しなかったため、保護装置が機能せず過充電となり出火。
- (3) リコール対象品等の不具合がある製品を使用したため出火。
- (4) 製品の清掃や修理をする際に鋭利なものを差し込んだため、内蔵されているリチウムイオン二次電池を損傷し出火。
- (5) 強い衝撃を与えてしまった、折り曲げてしまった等、外力によりリチウムイオン二次電池が損傷し出火。
- (6) 経年劣化により出火。

●使用上の注意事項等

- (1) 充電する際は、購入時に付属されている専用の充電器やメーカー指定のもので充電する。
- (2) 接続部が合致するからといって、充電電圧等を確認せずに充電しない。
- (3) 膨張などの変形や変色、異臭や異音等の異常が見られるものを使用しない。
- (4) 最後まで充電出来ない、使用時間が短くなった、充電中に熱くなる等の異常を認めた場合は使用せず、メーカーや販売店に相談する。
- (5) 廃棄の際には、地方公共団体や事業団体等で決められている正しい回収方法で廃棄する。

リチウムイオン二次電池は持ち運ぶ機会が多い製品に搭載されていることが多いので、多数の人が集まる場所や電車内等でも事故が発生しています。また、充電しながら就寝しているところに事故が発生することもあります。状況によっては被害が拡大することが考えられますので、御注意をお願いします。

外部リンク（報道発表資料）

- ・東京消防庁【平成 28 年 12 月 22 日発表】
「リチウムイオン電池からの火災にご注意を！」
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構（nite）【平成 29 年 7 月 27 日発表】
「急増！ノートパソコン、モバイルバッテリー、スマホの事故」
～リコール製品や誤った使い方に注意しましょう～